

平成21年2月6日

各 位

上場会社名 株式会社日本触媒
 代表者 代表取締役社長 近藤 忠夫
 (コード番号 4114)
 問合せ先責任者 総務部長 内海 勝議
 (TEL 06-6223-9111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	350,000	15,000	17,000	6,100	34.06
今回発表予想(B)	300,000	1,500	1,000	△5,500	△30.68
増減額(B-A)	△50,000	△13,500	△16,000	△11,600	――
増減率(%)	△14.3	△90.0	△94.1	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	302,669	18,379	20,745	11,875	64.91

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	252,000	13,800	17,800	9,500	53.03
今回発表予想(B)	214,000	1,000	3,800	△9,500	△52.99
増減額(B-A)	△38,000	△12,800	△14,000	△19,000	――
増減率(%)	△15.1	△92.8	△78.7	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	231,151	16,286	19,815	11,707	63.99

修正の理由

(連結通期)

世界的な金融危機に端を発し、実体経済までもが不況の様相を呈し、第3四半期以降、需要は急減退した状況で推移しており、また国産ナフサ価格も更に大きく下落し、為替も円高傾向に推移しておりますことから、通期連結業績の見通しは前回予想を下回る見込みであるため、通期の連結業績予想を下方修正いたします。

具体的には、(1)急激な原料価格等の低下により、在庫評価差額損失(約90億円)が大きく発生する恐れが出てきたこと、(2)当社業績進捗にも急ブレーキがかかって来たこと、(3)固定資産減損損失(約15億円)の発生も予想されることもあり、全般的に業績予想を下方修正いたします。

なお、第4四半期のナフサ価格、為替の前提につきましては、ナフサ価格は25,000円/キロリットル(前回予想:65,000円/キロリットル)、為替 90円/米ドル、120円/ユーロ(前回予想105円/米ドル、145円/ユーロ)と想定しております。

(個別通期)

個別業績予想につきましても、連結業績予想にある(1)急激な原料価格等の低下により、在庫評価差額損失の恐れが発生したこと、(2)当社業績進捗に急ブレーキがかかったこと、(3)海外子会社への株式評価損失(44億円)及び同貸付金の貸倒損失(40億円)が発生する恐れのため、業績予想を下方修正いたします。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上